体協フェアプレイニュース
2017年1月30日号

FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで日本を元気に
あくしゅ、あいさつ、ありがとう

フェアプレイストーリー アクシデントに負けない

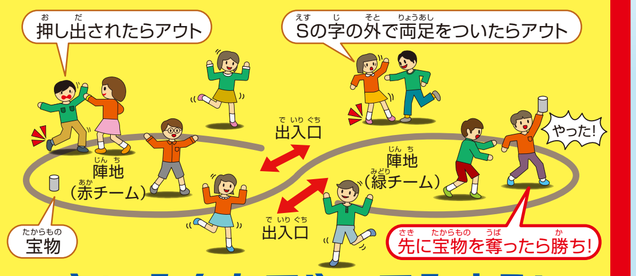
オリンピックへの道 ラグビー 福岡堅樹選手

2つの夢をかなえるために、ラグビーも勉強も妥協しない。

2015年のラグビーワールドカップや2016年のリオデジャネイロオリンピックの7人制ラグビーで、日本代表に選ばれた福岡選手。世界の舞台で刺激を受け、次の目標が明確になりました。それは、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ、そして2020年東京オリンピックの7人制ラグビーで活躍し、日本ラグビーの更なる発展に貢献することです。そしてその後、福岡選手は医者になる道に進むことを考えています。医者になることが、子供の頃からの夢だったのです。そのために現在も、厳しい練習とともに、勉強も行っているとのこと。2つの夢に向かって、全力疾走しているのですね。

あそびスポーツ研究所 Sケン

1. 大きなSの字を書き、宝物(空き缶など)を置く。
2. 2つのチームに分かれて、自分の陣地に入る。
3. 「よーいドン」で陣地の外を片足ケンケンで移動し、敵の陣地に入り、宝物を早く奪ったら勝ち。
4. 陣地の外で両足をついたり、陣地から押し出されたらアウト。



さぁ、みんなでやってみよう!

フェアプレイ語録

2006年トリノオリンピックのフィギュアスケートで金メダルに輝いた荒川静香さん。誰かに勝つためではなく、自分を進化させるためだから、挑戦は終わることはない。

「過去の自分に
今の自分に負けたくない。
だから、常に、自分にチャレンジ。」
荒川静香（プロフィギュアスケーター）

フェアプレイニュースとスポーツニュースの紙面が日本体育協会のキャンペーンホームページでみられます。 パソコンで フェアプレイ 検索
フェアプレイキャンペーンTOPページ ▶ フェアプレイニュース&スポーツニュース で見たいニュースをみつけてね。

スポーツくじ toto BIG

フェアプレイニュース 第79号（1月30日）
平成29年1月30日発行
（次号は2月20日の発行の予定です。）
企画・編集・発行：
公益財団法人 日本体育協会
http://www.japan-sports.or.jp/
公益財団法人 日本体育協会